

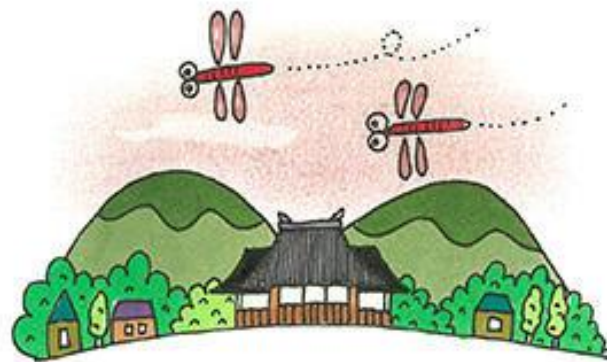
存仁寺のルーツを歩く

近江の国永源寺山上に山田城があり城主頼利(教高とも称す)が、坂田郡福勝寺において、蓮如上人の教化を受け、1490(延徳2)年剃髪して法蔵坊教尊となり、伊勢の智積に念仏道場をたてたのが西勝寺であります。その教尊に4男があり、長男は西勝寺を継ぎ、2男は安正寺、3男は福泉寺、4男教味が存仁寺を建立したといわれています。

このたび深いご縁により、桜郷土史研究会藤田様よりご案内いただきましたので、ご参加を募りました。

11月8日(日) 午前9:00～

(雨天中止)



ハイキングコース

存仁寺8時集合(乗り合わせて)

桜市民センター集合 → 道標(桜駐在所敷地内) → 教尊法師の碑(隣の山の神、八幡神社跡は説明のみ) → 十六屋敷跡(枅形、経塚) → 十兵衛藪(桜の昔話から) → 地蔵堂(北畠満雅と地蔵さん); 桜一色石川氏のお話 → 瑞光の碑 → 桜神社跡 → 安正寺(十八世住職のお話) → 西勝寺 解散

※ 約2キロのウォーキング; マスク, 飲み物, 軽食 等をご用意下さい
途中トイレはございます。以上現時点での概要です。

桜の史跡巡り 2020

桜社会福祉協議会文化部主催/桜郷土史研究会後援 / 存仁寺仏教壮年会

川順路略図

